

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場第一部)
公告の方法	電子公告により行う
公告掲載URL	<a href="http://www.sra-hd.co.jp/e-koukoku/">http://www.sra-hd.co.jp/e-koukoku/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本 経済新聞に公告いたします。)

## 【株式のお手続きに関するお知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。  
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株主優待制度のご案内

1	優待内容	株主の皆様からのご支援に対し、感謝の気持ちを込めまして、年1回、「おこめギフト券」を株主優待として贈呈いたします。
	優待の基準	株式保有数 100株以上=3枚
2	対象株主	毎年9月30日現在の株主名簿に記載された1単元（100株）以上保有の株主の方を対象といたします。
3	贈呈期間	毎年11月下旬に発送を予定しております。



## IRメール配信サービスを実施しています！

鹿島社長からのメッセージを株主の皆様にお届けします。

ご希望の方は当社の投資家情報ウェブサイト内の「IRメール配信サービス」よりご登録をお願いいたします。

<http://www.sra-hd.co.jp/ir/info/mail-service/>

メール配信サービスをご希望の方は上記アドレスよりご登録ください

ご登録いただきました情報は、当社からのIRメール配信サービスの目的にのみ利用させていただき、当社の厳重な管理の下で保管させていただきます。  
個人情報に関するお問い合わせは下記までご連絡いただけますようお願いいたします。

お問い合わせ

株式会社SRAホールディングス 管理本部 IR担当 Tel. 03-5275-4311

 株式会社 **SRAホールディングス**

<http://www.sra-hd.co.jp/>

本社オフィス：〒102-8578 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニ ガーデンコート28F TEL:03-5275-4311

# 2013年3月期 第2四半期 株主通信

2012年4月1日～2012年9月30日

 株式会社 **SRAホールディングス**

# 株主の皆様へ

皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

SRAグループは中期経営計画の2年目として、『既存事業の構造改革推進による収益力の向上・強化』と中長期成長戦略である『自社1P製品ビジネスの推進と海外新規事業への取り組みによる成長性の確保』を推進しております。

第2四半期の売上高は、開発事業が微増、運用・構築事業がほぼ横ばいとなりましたが、販売事業が減少した結果、4.6%減（前年同四半期比）となりました。収益面につきましては、利益率の向上により売上総利益が増加し、営業利益、経常利益も増加しました。

なお、業績予想に対しても営業利益、経常利益はほぼ同じ水準を確保しました。

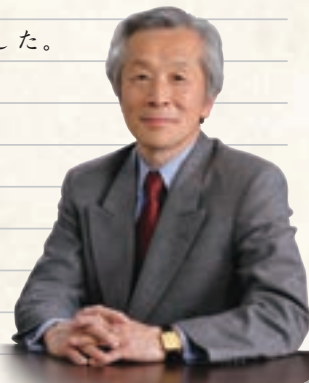
2013年3月期の配当につきましては、1株につき40円の維持を計画しております。

おります。

皆様には、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

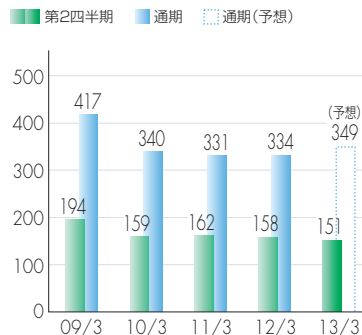
2012年11月

株式会社SRAホールディングス  
代表取締役社長 鹿島 亨

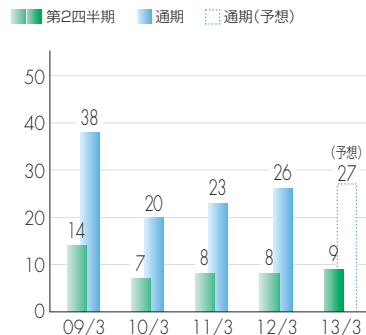


## ■ 連結財務ハイライト

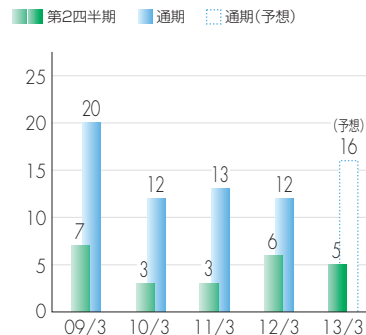
### 売上高 (単位:億円)



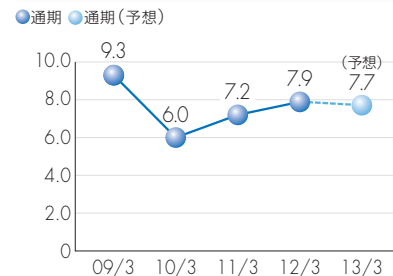
### 経常利益 (単位:億円)



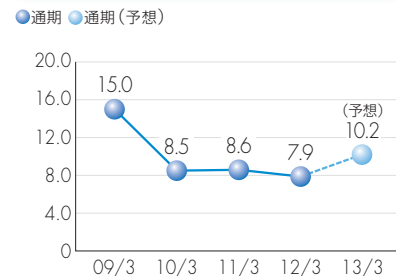
### 四半期(当期)純利益 (単位:億円)



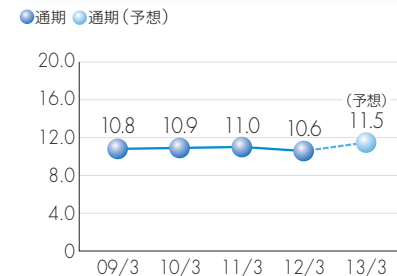
### 売上高経常利益率 (単位:%)



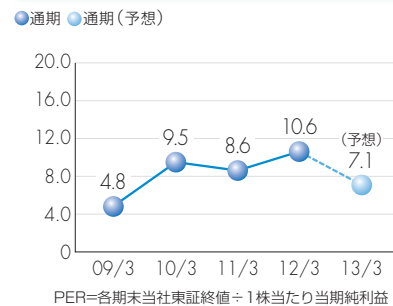
### 自己資本当期純利益率(ROE) (単位:%)



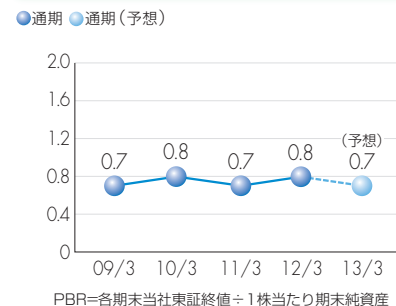
### 販管費率 (単位:%)



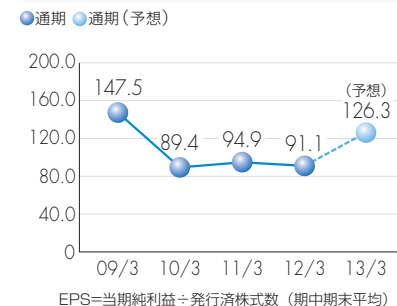
### PER(株価収益率) (単位:倍)



### PBR(株価純資産倍率) (単位:倍)



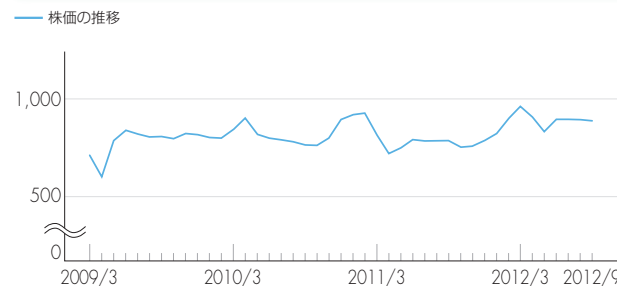
### EPS(1株当たり当期純利益) (単位:円)



### 1株当たり配当金 (単位:円)



### 株価チャート (単位:円)



(注)1. 2013年3月期予想は、2012年5月に発表したものです。業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。したがって、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高および利益は当該予想と異なる結果となる可能性があります。  
(注)2. 2013年3月期のPER、PBRの算出に係る株価は2012年9月末日の終値を使用し、収益等は2013年3月期の業績予想値を使用しております。

# 事業内容

**独立系**

どこのメーカー／ユーザーにも属さない中立な立場



**お客様にとって最適な選択肢を提供**

ハードウェアでもソフトウェアでも特定のメーカーやユーザーに偏ることなく提供

## 事業セグメント

売上高構成比

販売事業

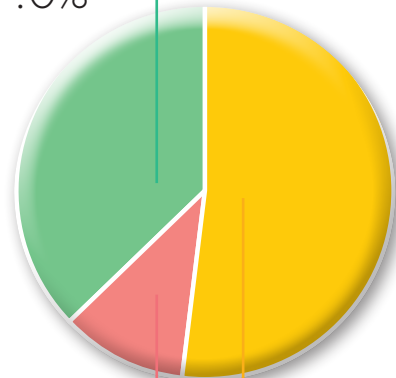
37.0%

運用・構築事業

11.0%

開発事業

52.0%



### 開発事業

SRAの強みである技術先進性と豊富な業務知識を活かして、銀行、証券をはじめとする各業界の大企業・中堅企業を中心にシステム開発を行っています。また、家電製品の「組込システム」も行っています。

### 運用・構築事業

全国の有名大学を中心とした校内ネットワークシステム、および強固かつ安定稼働が求められる大企業や中堅企業のネットワークシステムの構築・運用を行っています。

### 販売事業

IBMの先進的なサーバー製品をはじめとするハードウェア製品、先進技術力をベースとした自社IP製品\* および、海外・国内の優れた製品を販売しています。

\*：知的財産権を有する収益性の極めて高い自社ブランドの製品

# ビジネスフィールド

## ■ホームエレクトロニクス

- ホームエネルギーマネジメントシステム
- ホームオートメーション
- ホームセキュリティ
- デジタル家電 [TV/レコーダー、オーディオ機器、パソコン、ゲーム機、複合機]
- モバイル [スマートフォン、タブレット]
- カーナビ

## ■プロフェッショナルシステム

- ブロードキャストオートメーション [放送局向け素材管理・素材編集・番組編集]
- デジタルシネマ [シアター向けプロジェクター、シアター/スクリーンマネジメントシステム]
- 映像配信システム
- 医療用検査機器、測定機器
- カラオケシステム
- FA機器/OA機器
- POSシステム
- 電子マネー

## ■大学

- 総合文教ソリューション [UniVision]
  - ・入試・教務・学籍管理・会計
  - ・学生ポートフォリオ
  - ・教職履修カルテ
  - ・大学評価データベース
- 「キャンパスネット」
  - ・教員、学生、職員をつなぐ
  - ・ネットワーク構築・運用

## ■企業オフィス

- ・証券会社オンライントレードシステム
  - ・銀行・生損保業務システム
  - ・電力業務システム [工事管理、設備管理、販売管理]
  - ・ECサイト構築 [レコメンド・インタレストマッチ※、物流・販売管理]
- ※：閲覧履歴から閲覧者の関心を引き起こす商品推薦

## ■製造業

- ・ファクトリーオートメーション [NC機械、自動倉庫、生産管理]

## ■ハードウェア

- ・UNIXサーバー製品

## ■自社IP製品

- ・PowerGres
- ・MailDepot
- ・CodeDepot



# 3つの強み

## 1 技術先進性

1967年の創業以来、「技術先進性」を強みとし、UNIXからインターネット、Linux、オープンソースソフトウェア、そしてSOA、SaaS、クラウドコンピューティングと常にIT業界をリードしてきました。先進技術を活かした新しいビジネスの創出、新規事業の立ち上げにも取り組み、着実にその成果をあげています。また、品質および生産性の向上にも先進技術を活用しています。

<http://www.sra-hd.co.jp/tech>

### TOPICS SRA先端技術研究所長 中小路久美代を代表とするプロジェクトがJSTに採択

科学技術振興機構（JST：国の科学技術政策を実践する中核機関）は、社会技術研究開発センターの戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）における平成24年度新規プロジェクトを発表しました。

この事業中の「問題解決型サービス科学研究開発プログラム（A.問題解決型研究）」には54件の応募があり、SRA先端技術研究所長 中小路久美代を代表とするプロジェクトを含め4件が採択されました。採択された研究プロジェクト「文化的な空間における触発型サービスによる価値創造」は、東京大学、公立はこだて未来大学と共同で、ミュージアム（博物館等）における来館者の体験を「触発型サービス」として捉え、それを記述・分析・評価するモデルを、ITを活用しながら構築しようというものです。このような文化的な体験をモデルとした手法・ノウハウをSRAグループの将来のビジネスにも活用していきたいと考えています。

ここに注目! 先進技術「マイグレーション」 P7~P8

## 2 優良顧客基盤

製造、銀行・証券等の各業界のリーディングカンパニーをはじめとする大企業・中堅企業をお客様とし、継続的・安定的なビジネスを展開しています。

また、新規のお客様に対しても、ビジネスを拡大しています。



製造業	36%	流通	4%
通信	5%	大学等	5%
電力・ガス	6%	ハードメーカー(Sier)	4%
銀行・証券	19%	情報サービス	7%
生損保	4%	サービス他	9%

## 3 グローバル・リーチ

米国、欧州をはじめとする海外拠点の実績・ノウハウとグローバル・リーチを活かし、海外ビジネスを推進している日系企業・現地企業のお客様はもとより、これから海外市場に進出されるお客様に対しても国際競争力に直結するサービスを提供しています。

今後もIT技術の進展と先々のニーズをいち早く捉え、サービス拡充を図っていきます。

(株)SRA東北

- (株)SRAホールディングス
- (株)SRA
  - 先端技術研究所
- (株)ソフトウェア・サイエンス
- (株)AIT
- (株)SRAプロフェッショナルサービス
- (株)クレディスト
- SRA OSS, Inc./日本支社

(株)SRA/中部事業所

(株)SRA/関西事業所

(株)SRA西日本/広島事業所

(株)SRA西日本

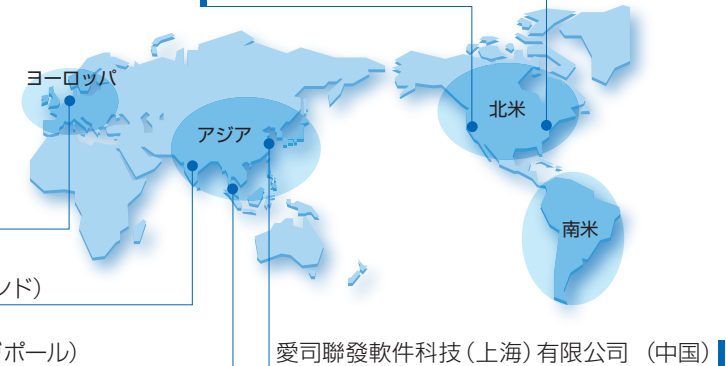
### 所在地別セグメント情報

SRA Europelは、主要顧客のリストラの影響で、売上減少。

所在地別セグメント	売上高			
	前第2四半期 (2011年4月1日 ~2011年9月30日)	構成比	当第2四半期 (2012年4月1日 ~2012年9月30日)	構成比
海外	1,355百万円 (17,066千ドル)	8.5%	1,193百万円 (15,156千ドル)	7.9%
日本	14,539百万円	91.5%	13,971百万円	92.1%

SRA AMERICA, INC.  
(アメリカ ニューヨーク)

SRA OSS, Inc.  
Cavirin Systems, Inc.  
(アメリカ サンタクララ)



# 先進技術

## オープンソースソフトウェアにおける技術優位性を活かし、 マイグレーションサービスを展開

近年、企業においてWebシステムは、ますますその重要度を増しており、社内業務やビジネスに不可欠なものになっています。そこで使われる代表的な言語、データベースが「Java」、「PostgreSQL」です。

SRAは、オープンソースソフトウェア（OSS）における技術優位性を活かし、Java、PostgreSQLへの移行＝[マイグレーションサービス]を推進しています。

マイグレーションは、長年の利用により最適化され多くのノウハウも詰まった「貴重な資産」であるシステムを、新たにWebシステムとしてリニューアルして使用したい、OSSを活用することでシステムの保守コストを削減したい、という企業にとって最適な手法です。

### (1) Javaへの言語移行

[PowerBuilder to Java]、[RPG to Java]

信頼性が高く安定したPowerBuilderやRPG等で構築されたシステムは、現在でも多くの企業で稼働していますが、これらのシステムの多くは、ハードウェアやオペレーティングシステム（OS）が限定

される、Webへの対応が不十分である、サポート停止のリスクがある等の問題をかかえています。これらの問題を解決し、将来にわたり継続して活用できるシステムとするには、言語をJavaに移行することが有効です。SRAは、Javaへのマイグレーションに際し、OSSをベースとした独自の変換ツールを利用することで、工期を短縮し、低コストで信頼性の高いシステムを提供しています。金融機関や公共系企業等、業種を問わず多くの実績があります。

### (2) PostgreSQLへのデータ移行

[Oracle to PostgreSQL]

業務システムにデータベースは必須ですが、商用データベースはバージョンアップや管理のコストが高いことから、コスト低減を図るために信頼性の高いOSSへのマイグレーションを検討する企業が増えています。

SRAは、データベースで高い評価を得ているPostgreSQLに移行 [[Oracle to PostgreSQL] のマイグレーション] することにより、企業のコスト削減のニーズに対応しています。

また、PostgreSQLの先駆企業であるSRA OSS Inc. 日本支社は、2012年4月に、NEC、NTTを始めとする企業と共に、「PostgreSQLエンタープライズ・コンソーシアム」を設立し、エンタープライズ（企業等の基幹システム）領域におけるPostgreSQLへのマイグレーションを強力に推進しています。

**Java**：現在、一番多く使われているプログラミング言語・プラットフォームです。ビジネスアプリケーション、ゲーム、携帯機器、インターネット等最先端のプログラムの基礎となっています。Javaがないと動作しないWebサイトも多数あります。

**PostgreSQL**：システムの中核を支えるOSSのデータベース管理ソフト。SRA OSS 日本支社長の石井達夫は“コミッタ”と呼ばれる開発者として、PostgreSQLの開発に関わっています。麒麟ビジネスシステム株式会社、株式会社カブコンを始め多くの企業、大学で採用されています。

## TOPICS 海外新会社を設立

SRAグループは、米国にCavirin Systems, Inc. を設立しました。この会社は、データセンターオートメーション・サービスの先進企業であるnSolutions, Inc.※1（SRAグループと業務・資本提携）の知的財産権を含む全資産を引き継ぐ方針です。

nSolutionsの「NOVA」シリーズは、ブラジル国家警察、メキシコ国立電力会社、ニューヨーク

市立大学等、多くの導入実績があります。

今後、Cavirin Systemsは、販売体制を強化し、米国および成長市場である中国・インド・ASEANもターゲットに、「vNOVA」（クラウドに対応）を中心とした「自社IP製品ビジネス」※2を推進していきます。

※1 nSolutions, Inc.：2012年3月期株主通信で紹介  
※2 自社IP製品ビジネス：知的財産権を有する、収益性の極めて高い自社ブランドの製品ビジネス



# 連結財務諸表

## ■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期末 2012年9月30日現在	前期末 2012年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	18,690	19,277
固定資産	8,341	8,200
有形固定資産	197	197
無形固定資産	1,011	1,104
投資その他の資産	7,132	6,897
資産合計	27,031	27,478
<b>負債の部</b>		
流動負債	7,448	7,682
固定負債	4,115	4,116
負債合計	11,564	11,799
<b>純資産の部</b>		
株主資本	15,718	15,732
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	4,483	4,483
利益剰余金	11,628	11,642
自己株式	△1,393	△1,393
その他の包括利益累計額	△287	△83
新株予約権	36	29
純資産合計	15,467	15,678
負債・純資産合計	27,031	27,478

**ポイント** 業務・資本提携の強化のため、株式会社SJIへ貸付を行ったこと等により、短期貸付金が2,723百万円増加し、現預金が、2,075百万円減少。売掛金が1,094百万円減少で、流動資産減少。

## ■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 2012年4月1日から 2012年9月30日まで	前第2四半期 2011年4月1日から 2011年9月30日まで
売上高	15,165	15,895
売上原価	12,488	13,279
売上総利益	2,677	2,615
販売費及び一般管理費	1,777	1,802
営業利益	899	813
営業外収益	144	118
営業外費用	86	44
経常利益	957	886
特別利益	12	170
特別損失	0	65
税金等調整前四半期純利益	969	992
法人税等	458	384
四半期純利益	511	607

**ポイント** 売上高は減少したものの、利益率の向上により、売上総利益、営業利益（前年同期比10.6%増）、経常利益（同8.0%増）は増加。販売事業で、前年同期の大型案件に匹敵する案件なく売上減となったが、開発事業は3.7%の売上増。

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 2012年4月1日から 2012年9月30日まで	前第2四半期 2011年4月1日から 2011年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,053	724
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,094	△1,894
財務活動によるキャッシュ・フロー	△525	△845
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	8
現金及び現金同等物の増減額	△2,574	△2,008
現金及び現金同等物の期首残高	9,496	9,309
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,922	7,301

# 株式の状況・会社概要

(2012年9月30日現在)

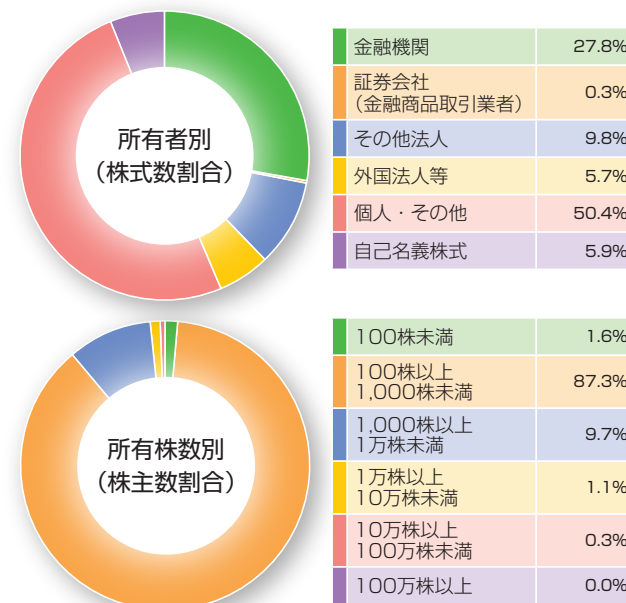
## ■ 株式の状況

発行可能株式総数	60,960,000株
発行済株式総数	15,240,000株
株主数	8,922名

## ■ 大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
丸森京子	1,635	10.7
株式会社SRA	1,190	7.8
株式会社SRAホールディングス	911	5.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	878	5.7
SRAホールディングス社員持株会	668	4.3
第一生命保険株式会社	564	3.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	560	3.6

## ■ 株式分布状況



## ■ 会社概要

商号	株式会社SRAホールディングス SRA Holdings, Inc.
本店所在地	東京都豊島区南池袋二丁目32番8号
設立年月日	1991年1月28日
資本金	10億円
主要な事業内容	システムの開発事業、運用・構築事業 および販売事業を営む事業会社の統括管理
従業員数	1,587名

## ■ 役員

代表取締役社長	鹿島 亨
常務取締役	富田 博
常務取締役	金崎 俊明
常務取締役	山崎 善通
取締役	堀井 哲夫
常勤監査役	新延 正憲
監査役	櫻井 通晴
監査役	竹谷 智行
会計監査人	太陽ASG有限責任監査法人

## お知らせ

株主通信を最後までお読みいただきまして、ありがとうございました。次回の第3四半期株主通信の発行は2013年2月下旬～3月上旬を予定しております。これからも企業価値向上のため、中期経営計画の達成を目指し業務を遂行してまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

SRAホールディングス